

プラント状況確認結果(平成28年10月25日～平成28年11月1日)

平成28年11月1日
福島県原子力安全対策課

平成28年10月25日～平成28年11月1日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

(1) プラント状況(11月1日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 ^{※2}
原子炉 ^{※1} (核燃料)	冷却	注水量(m ³ /h)	4.2	4.4	4.4	—
		圧力容器 下部温度(°C)	<u>23.9</u>	<u>29.1</u>	<u>27.9</u>	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 ^{※3} (Bq/cm ³)(A系)	6.40×10 ⁻⁴	検出限界値 未満	検出限界値 未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (体積%)(A系)	0.00	0.01	0.04	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	19.0	22.9 ^{※4}	19.2	24.2

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧ください。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 実施計画に定める制限値は、1Bq/cm³以下である。

※4 作業に伴い、2号機使用済燃料プール代替冷却システムの二次系停止中。なお、使用済燃料プールの温度上昇率は0.124°C/h程度と評価。

(2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果(11月1日午前10時)

最小 0.588(MP-6)～最大 2.146(MP-4)マイクロシーベルト/時 [⇒計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果(10月31日採取分)

最小 検出限界値未満(物揚場前、港湾口)Bq/ℓ ※検出限界値はそれぞれ約0.50、0.52Bq/ℓ
～最大 6.4(1～4号機取水口内北側)Bq/ℓ

(4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果(10月31日採取分)

5,6号機放水口から北側に30m: 検出限界値未満 ※検出限界値は約0.68Bq/ℓ
1～4号機放水口から南側に1.3km: 検出限界値未満^{※5} ※検出限界値は約0.53Bq/ℓ
※5 台風10号の影響により、試料採取地点の安全が確保できないため、1～4号機放水口から南側に約330m地点において試料を採取。(2016年9月16日～)

(5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果(10月31日採取分)

西門: 検出限界値未満 ※検出限界値は約1×10⁻⁷Bq/cm³

(6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果(10月31日採取分)

最小 検出限界値未満(3,4号機) ※検出限界値はそれぞれ約4.8、3.8Bq/ℓ
～最大 160(2号機)Bq/ℓ

(問い合わせ 024-521-7255)